

# 令和7年度 東京の農業振興に向けた専門懇談会（第2回）

## 懇談会次第

日 時 : 令和7年10月30日（木）  
午後3時30分～午後4時30分  
場 所 : ホテルエミシア東京立川

1 開会

2 議事

懇談会でのご意見を踏まえた今後の施策の展開について

3 閉会

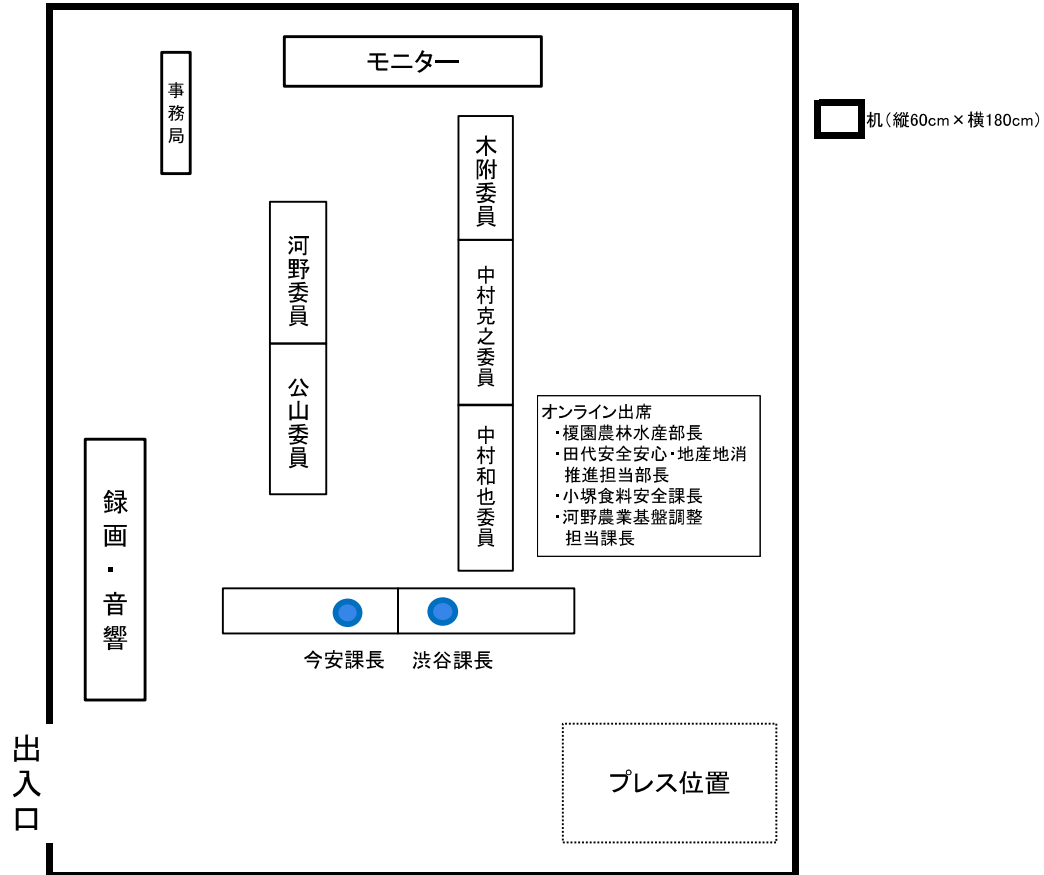
## 東京の農業振興に向けた専門懇談会 委員名簿

(五十音順・敬称略)

所属等	氏 名
アイ・プラス株式会社 代表取締役	<small>かわの あい</small> 河野 愛
九州大学未来社会デザイン統括本部 ディレクター・客員教授 千葉大学 大学院園芸学研究院 客員教授 新潟食料農業大学 客員教授	<small>きづき せいいち</small> 木附 誠一
Eight Roads Ventures Japan Vice President	<small>こうやま みちこ</small> 公山 倫子
JA 東京むさし本店 指導経済部 指導課 課長	<small>なかむら かずや</small> 中村 和也
国分寺中村農園	<small>なかむら かつゆき</small> 中村 克之

# 東京の農業振興に向けた専門懇談会 座席表

令和7年10月30日(木) 15時30分～16時30分  
ホテルエミシア東京立川 2階 カサノバ



東京の農業振興に向けた  
専門懇談会  
(第2回)

# 農業専門懇談会を踏まえた施策展開の方向性①

## 分野

## 生産性の向上と流通の円滑化 ～SUやAGなど異分野からの参入促進～

### 委員からの意見

#### ○生産性の向上

- 今後の農業継続には、農業者の暑さ対策が不可欠
- 栽培履歴管理を自動入力するシステム等があるといい
- アグリテックやベンチャーの育成が必要

#### ○流通の円滑化

- 流通の仕組みをまずはローカルで立ち上げる
- 技術モデルや仕組みで解決するのが現実的
- 生産者の努力では物流問題の解決は難しい

### 施策の方向性

#### ○生産性の向上

- 農業者が快適に作業できる環境確保するための支援を充実
- スマートフォンやタブレットで利用できるアプリなど、農業者が作業中でも入力可能な管理ツールを構築
- 斬新な発想を持ったプレーヤーとの協働により、新たな東京農業を展開

#### ○流通の円滑化

- 様々なニーズに対応できる小ロット配送のモデルを検討
- 物流コスト削減のための支援を充実

## 農業専門懇談会を踏まえた施策展開の方向性②

分野

力強い農業経営体の育成 ～法人化、法人育成による農業の大規模化～

### 委員からの意見

#### ○法人化に向けた課題

- 農家には雇用することに強い抵抗感がある人が多い
- 経営規模・機能拡大にはリスクマネジメントが必要
- 作業内容と働き手の意向のマッチングが重要

#### ○農業の大規模化

- いくつかの経営的課題は経営体を大きくすることで解決できる

### 施策の方向性

#### ○法人化に向けた課題

- 農家経営の法人化に向けた相談体制を強化
- 都内の家族農業経営体の農業者の法人化を促す取組を充実
- 人手不足の解消に向け、若者等新たな働き方を志向する都民と農業をつなぐ仕組みづくり

#### ○農業の大規模化

- 東京の農業をけん引する、規模の大きな農業法人を育成
  - 農地貸借や集約の促進
  - 施設や設備等の導入を支援

## 農業専門懇談会を踏まえた施策展開の方向性③

### 分野

### 消費者や企業と連携した新しい東京農業の展開

#### 委員からの意見

##### ○消費者との連携

- 販売価格上げるには、消費者を巻き込んだ取組が重要
- 生産者と消費者の信頼関係が構築されれば付加価値になる
- 購入が応援につながると思わせる売り場づくり必要

##### ○企業との連携

- 農業をよく知る団体がプラットフォーム的機能を果たしてほしい

##### ○間接的な連携

- ESG投資は増えており、各分野で評価が始まっている
- お金が農業に回る仕組みが作ることが重要

#### 施策の方向性

##### ○消費者との連携

- 農産物の栽培やそれを使った調理などの体験機会を充実
- エコ農産物の販売専門店でのPR販売を強化

##### ○企業との連携

- 農に関心のある企業と農業者を結びつける仕組みを構築

##### ○間接的な連携

- 持続可能な農業経営の確立に向け新たな活動を行うための資金調達を支援